

【まちの動きを調査】

～見たい・聞きたい・知りたい！～

常任委員会クローズアップ

今号からの新たな企画「常任委員会クローズアップ」では、「総務文教、民生、産業建設」の3常任委員会が所管している「まちの各種事務」について、調査を行った内容をクローズアップしてご紹介します。

総務文教常任委員会では、7月9日「学校給食センター」について所管事務調査を行い、次のような説明を受けました。

給食提供数については、幕別の給食センターで2,616人(幼稚園、へき地保育所、中札内高等養護学校幕別分校を含む)、忠類のセンターで212人(へき地保育所を含む)、合計2,828人に提供しており、年間では約52万食の提供をしています。

給食費の収支状況では、食材の高騰などもあり、年間の給食材料費が約1億5千万円、給食費の収入予定額が約1億3千万円であり、給食材料費が約2千万円ほど上回っている状況にあります。



幕別学校給食センター

給食費の改定は、平成21年に小麦等食材の高騰による改定(16～19%)を行い、平成26年に消費税率の引上げに伴う改定(2.2～4.3%)を行っています。小学校の給食費は、1食当たり忠類237円、幕別234円であり十勝管内で4番目と9番目、中学校は284円で管内で4番目の金額となっています。

すべて幕別産の食材を使用した「まぐべつ恵み給食」(11月)の実施や、町内の食物アレルギーを持つ児童生徒数は222人であることなどの説明を受けました。また、この日の給食を試食しました。



◆委員からの主な質疑

Q : 学校給食法では、給食材料費相当を保護者負担としています。現状は給食材料費が約2千万円上回り、公費で負担しています。今年度、管内自治体では料金を改定するところもありますが、幕別町の将来的な考えは。

A : 給食の質を維持した中で、仕入や食材の見直しも含めてどこまでコストを抑えられるか検討したい。給食センター運営委員会の意見もお聞きしながら、価格改定の必要性についても検討したいと考えています。



幕別学校給食センターの給食
(塩ラーメン・牛乳・大豆コック・骨太チヌ)

編集後記

実りの秋も、11月になると冬への一歩手前ですね。今年はインフルエンザの流行が早く、体調にはお気をつけください。

議会だよりは、町民の皆さまへ議会における審議結果や委員会活動など、今何が行われているのかを情報発信する目的として発行してきました。しかし、紙面で発信する情報は、一方通行になりがちです。

議会としても「議会報告会 and 懇談会」などを実施し、皆さまから率直なご意見、ご感想をお聞きしたいと思っています。

町民の皆さまの「声」を町政に、ぜひこの機会にご参加ください。

荒 貴賀

議会広報広聴委員会

委員長 内山美穂子 副委員長 荒 貴賀
委員 石川康弘 小田新紀 小島智恵 若山和幸
岡本真利子 酒井はやみ 小川純文

表紙写真募集

議会だよりNo.198号(2月1日発行)の表紙写真を募集しています。写真のテーマは「十勝の冬」です。

応募は、議会事務局へのメール(左下QRコード)等によりご応募ください。締切は、令和2年1月10日(金)です。

詳しくは、議会ホームページ(右下QRコード)をご覧ください。

ホームページからは、議会中継、議会だよりのバックナンバーなどをご覧ください。



議会メールアドレス



議会ホームページ